

光触媒現象(ホンダ・フジシマ効果)の発見者のご紹介

藤嶋昭博士 (光電気化学、機能材料化学)

東京理科大学前学長
東京理科大学光触媒国際研究センター長
東京理科大学光触媒研究推進拠点長

1967年、酸化チタンに光を当てると水が酸素と水素に分解する、ホンダ・フジシマ効果を発見。光触媒酸化反応（有機，無機の化合物が酸化される）、光誘起超親水化現象（水をかけても水滴ができず，うすい水の膜状にひろがる）を応用し、産学共同研究で数々の実用製品を送り出した。

- ・ビルや住宅の外壁のセルフクリーニング塗装
- ・抗菌タイル　・抗菌塗装　・防カビ光コンテナ
- ・大規模空気清浄システムなど

【おもな受賞歴】文化勲章（2017年）、トムソン・ロイター引用栄誉賞（2012年）、The Luigi Galvani Medal（2011年）、文化功労者（2010年）、神奈川文化賞（2006年）、恩賜発明賞（2006年）、日本国際賞（2004年）、日本学士院賞（2004年）産学官連携功労者表彰・内閣総理大臣賞（2004年）、紫綬褒章（2003年）、第1回The Gerischer Award（2003年）、日本化学賞可（2000年）